



Extension Assigner を使用した電話機構成の作成

- [Extension Assigner の前提条件](#) (1 ページ)
- [Extension Assigner の制約事項](#) (1 ページ)
- [Extension Assigner について](#) (2 ページ)
- [Extension Assigner の構成](#) (9 ページ)
- [Extension Assigner 同期の構成](#) (30 ページ)
- [Extension Assigner を使用したオンサイトの内線番号の割り当て](#) (32 ページ)
- [SCCP 電話機の Extension Assigner 構成の確認](#) (35 ページ)
- [SIP 電話機の Extension Assigner 構成の確認](#) (35 ページ)
- [Extension Assigner の構成例](#) (35 ページ)

Extension Assigner の前提条件

- SIP 電話機の場合は、Cisco Unified Cisco Mobility Express 11.6 以降のバージョン。
- SCCP 電話機の場合は、Cisco Unified Cisco Mobility Express 4.0(3) 以降のバージョン。
- Extension Assigner Synchronization には、Cisco Unified CME 4.2(1) 以降のバージョン。
- SCCP 電話機の **auto-register-phone** コマンドは、有効になっており（デフォルト）、SIP 電話機の **auto-register** は有効になっている必要があります。
- DHCP が設定されていること。構成情報については、「[ネットワークパラメータの定義](#)」を参照してください。
- 有効な Cisco.com アカウントを持っていること。
- ファイルのダウンロードのため、TFTP サーバにアクセスできる。

Extension Assigner の制約事項

- 設置する電話機の数、ルータシャーシでサポートされる電話機の最大数よりも多くできません。特定のルータと Cisco Unified Cisco Mobility Express バージョンに対する電話機の最大数を調べるには、Cisco IOS リリースの該当する「[Cisco Unified Cisco Mobility Express](#)

対応ファームウェア、プラットフォーム、メモリ、および音声製品」を参照してください。

- Extension Assigner 同期の場合、自動同期は、Cisco Unified Cisco Mobility Express Extension Assigner が行った構成変更のみに適用されます。

Extension Assigner について

Extension Assigner の概要

Cisco Unified Cisco Mobility Express リリース 11.6 以降、[Extension Assigner] 機能は SIP 電話と SCCP 電話の両方でサポートされます。この機能を使用すると、サーバへの管理アクセス権がなくても、インストール技術者が内線番号を Cisco Unified CME の電話機に割り当てることができます。通常は、新しい電話機のインストール時、または故障した電話機の交換時に行われます。ただし、インストール技術者がこの機能を使用するには、システム管理者が特定の内線番号の割り当てを許可するように、事前に Cisco Unified CME を設定しておく必要があります。また、システム管理者は、電話機に内線番号を割り当てるために必要な情報をインストール技術者に提供する必要もあります。次に、インストール技術者は、管理者からの追加の介入なしに、電話機自体だけに対するアクセス権で、電話機に内線番号を割り当てることができます。

この機能を設定するには、管理者は Cisco ルータで作業を実行し、インストール技術者はオンサイトで作業を実行する必要があります。

システム管理者の手順

インストール技術者が電話機に新しい内線番号を割り当てる前に、次の手順を完了する必要があります。

1. 新しい電話機に割り当てる内線番号を決定し、設定を計画します。
2. 適切な Tcl スクリプトおよび関連付けられたオーディオプロンプト ファイルをダウンロードし、正しいディレクトリに配置します。
3. Cisco Unified Cisco Mobility Express ルータを次に構成する場合
 - 適切な Tcl スクリプトを設定し、ロードします。
 - インストール技術者が内線番号を割り当てるためにコールする内線番号を指定します。
 - オプションとして、内線番号の割り当てに使用される内線番号が自動的にダイヤルされるかどうかを指定します。
 - インストール技術者が内線番号を割り当てるために入力するパスワードを指定します。
 - Extension Assigner 機能を設定します。
 - 一時内線番号を `ephone-dn` に構成します (SCCP 電話機のみ該当)。
 - インストール技術者が電話機に割り当てることができる内線番号を `ephone-dn` と音声登録 `dn` に構成します。

- インストール技術者が内線番号を割り当てる各電話機の一時MACアドレスを、ephone と音声登録プールに構成します。
- オプションとして、設定を自動的に保存するようにルータを設定します。



(注) 自動登録プロセスの一部として生成される dn やプールなどのすべての電話機構成は、永続的な構成です (コマンド **background save interval** が、telephony-service で構成されている場合)。これらの電話機の設定は、ルータのリロード後も Unified Cisco Mobility Express で使用できます。

4. 新しい電話機に内線番号を割り当てるために必要な情報を、インストール技術者に提供します。

この機能を設定する前に、Extension Assigner アプリケーションがどのように動作し、インストール技術者が電話機に内線番号を割り当てるためにどのような情報を必要とするかを理解しておく必要があります。

インストール技術者に提供する必要があるその他の情報は、インストール技術者が実行する必要がある作業に関係します。これには、次のような作業があります。

- Extension Assigner アプリケーションにアクセスするために、構成可能な内線番号をダイヤルします。
- 構成可能なパスワードを入力します。
- 電話機に割り当てられる内線番号を識別するタグ (SIP 電話機の場合は provision-tag、SCCP 電話機の場合は ephone-tag または provision-tag) を入力します。

したがって、次のことを決定する必要があります。

- Extension Assigner アプリケーションにアクセスするためにダイヤルする必要がある内線番号。
- 電話機がオフフック状態になったときに、その番号が自動的にダイヤルされるかどうか。
- Extension Assigner アプリケーションにアクセスするためにインストール技術者が入力する必要があるパスワード。
- 電話機に割り当てる内線番号を識別するために使用するタグのタイプ (SIP 電話機の場合は provision-tag、SCCP 電話機の場合は ephone-tag または provision-tag) 番号。
- 電話機に割り当てる内線番号を識別するために使用する特定のタグ番号。

最初の3つの決定は簡単ですが、残りの2つのタグ番号の決定では、Extension Assigner 機能の動作に関してある程度の知識が必要です。

この機能は、Tcl スクリプトとオーディオファイルを使用して実装されます。このスクリプトを実行するには、インストール技術者が電話機を接続し、ランダム内線番号が自動で割り当てられるまで待機し、指定の Extension Assigner 番号をダイヤルし、Extension Assigner サービスを呼び出します。

電話機が登録され、一時内線番号を受け取ると、インストール技術者は Extension Assigner にアクセスして、タグ番号を入力できます。このタグ番号は、内線番号を識別するために使用さ

れ、**ephone** タグ (SCCP 電話機のみ) または、**provision-tag** と呼ばれる類似する新しいタグ (SIP と SCCP 電話機両方該当) のいずれかと一致する必要があります。

SCCP 電話機の場合、**ephone** と **ephone-dn** エントリを構成前に、使用するタグを決定する必要があります。

provision-tag を使用することの利点は、プライマリ内線番号、またはジャック番号などの電話機に対するその他の一意の識別子と一致するようにタグを設定できるため、インストール技術者による内線番号の割り当てが容易になることです。プライマリ内線番号と同じ **provision-tag** を構成することをお勧めします。

欠点は、次の例に示すように、各 **ephone** エントリに対して追加のキーワードを設定する必要があります。

```
ephone 1
  provision-tag 9001
  mac-address 02EA.EAEA.0001
  button 1:1

voice register pool 1
  provision-tag 1001
  mac-address 02EA.EAEA.0001
  number 1 dn 101
```

SCCP 電話機の場合で **ephone** タグを使用すると決定した場合、少ない構成ですみます。ただし、インストール技術者は、電話機を構成するときに、実際の内線番号の代わりに任意のタグ番号を入力します。この制限は、設定できる **ephone** タグの数がライセンスによって制限されているために適用されます。たとえば、**ephone** タグを使用し、100 のユーザーライセンスがある場合、インストール技術者は、**ephone 1** ~ **ephone 100** だけを構成できるため、タグに対して 9001 と入力することはできません。

設定する各 **ephone** エントリには、一時 MAC アドレスも含める必要があることに注意してください。上の例に示したように、このアドレスの先頭は 02EA.EAEA にする必要があります。末尾は任意の番号にすることができます。**ephone** タグと SCCP 電話機を一致するように、この一意の番号を構成することを強く推奨します。

SCCP 電話機の場合、ランダムに割り当てられる内線番号に対して **ephone** エントリを構成する必要はありません。自動割り当て機能によって、登録時に新しい各電話機に対して **ephone** エントリが自動的に作成されます。次に、**auto assign** コマンドによって指定されたいずれかのタグ番号の **ephone-dn** が使用可能な場合は、自動割り当て機能によって、**ephone-dn** エントリが自動的に割り当てられます。生成されると、**ephone** プール構成には、電話機の実際の MAC アドレスと、自動割り当て機能用に指定した最初に使用可能な **ephone-dn** のボタンが割り当てられます。詳細については、[Extension Assigner を使用する SCCP 電話機に一時的な内線番号を構成する \(16 ページ\)](#) を参照してください。

SIP 電話機の場合、音声登録プールまたは音声登録 DN を構成する必要はありません。Cisco Unified Cisco Mobility Express で SIP 電話機を自動登録するには、**auto-register** コマンドを構成する必要があります。詳細については、[Extension Assigner を使用する SCCP 電話機に一時的な内線番号を構成する \(16 ページ\)](#) を参照してください。



- (注) 手動登録した電話機の場合、**ephone**（音声登録プール）および **ephone-dn**（または音声登録 **dn**）は手動作成されます。

次の例に示すように、一時内線番号に対して少なくとも 1 つの **ephone-dn** を設定し、自動割り当て機能によって一時 **ephone** エントリに割り当てられる **ephone-dn** を指定します。

```
telephony-service
  auto assign 101 to 105
  ephone-dn 101
  number 0001
```

インストール技術者が電話機に内線番号を割り当てるときに、一時 MAC アドレスは、実際の MAC アドレスに置換され、自動登録機能で作成された **ephone** エントリは削除されます。自動登録機能用に構成する **ephone-dn** の数によって、一度に接続して、自動的に割り当てられる内線番号を取得できる電話機の数が決まります。自動登録に対して 4 つの **ephone-dn** を定義し、5 台の電話機を接続した場合、1 台の電話機は、他の 4 台の電話機のいずれかに内線番号を割り当てて 5 台目の電話機をリセットするまで、一時内線番号を取得しません。Extension Assigner を使用して、ライセンスされた電話機を登録できるよう、**max-ephone** の値を、Cisco Unified Cisco Mobility Express 電話ライセンスでサポートされているユーザーと電話機の数よりも大きく設定することができます。

自動的に割り当てられる各一時内線番号に対して 1 つの **ephone-dn** を設定することに加えて、インストール技術者が割り当てる各内線番号に対しても **ephone-dn** エントリを設定する必要があります。技術者が SCCP 電話機に割り当てることができる内線番号の構成の詳細については、「[インストール技術者が SCCP 電話機に割り当てることができる内線番号の構成（19 ページ）](#)」を参照してください。

SIP 電話機の場合、一時 MAC アドレスは、実際の MAC アドレスに置き換えられ、自動登録機能が作成した音声登録プールエントリは、インストール技術者が電話機に内線番号を割り当てた際に削除されます。自動登録機能用に構成する音声登録 **dn** の数によって、一度に接続して、自動的に割り当てられる内線番号を取得できる電話機の数が決まります。自動登録に対して 4 つの音声登録 **dn** を定義し、5 台の電話機を接続した場合、1 台の電話機は、他の 4 台の電話機のいずれかに内線番号を割り当てて 5 台目の電話機をリセットするまで、一時内線番号を取得しません。Extension Assigner を使用して、ライセンスされた電話機を登録できるよう、**max-pool** の値を、Cisco Unified Cisco Mobility Express 電話ライセンスでサポートされているユーザーと電話機の数よりも大きく設定することができます。技術者が SIP 電話機に割り当てることができる内線番号の構成の詳細については、「[インストール技術者が SIP 電話機に割り当てることができる内線番号の構成（21 ページ）](#)」を参照してください。



- (注) SIP 電話機で自動登録が使用されている場合は、一時的な DN を作成する必要はありません。

設定を完了するには、次の例に示すように、以下の作業を実行する必要があります。

- 電話機に割り当てる内線番号の識別に、**ephone** と **provision-tag** 番号のどちらを使用するかを指定します。この機能で提供される新しい **extension-assigner tag-type** コマンドでこの機能が有効になっている場合に、これを設定します。
- 自動的に割り当てられる一時内線番号ごとに、**ephone-dn** を設定します。
- インストール技術者が電話機に割り当てる各内線番号に対して **ephone-dn** または音声登録 **dn** を構成します。
- インストール技術者が内線番号を割り当てる各電話機の一部 **MAC** アドレスを、**ephone** または音声登録 **dn** に構成します。オプションとして、この **ephone** 定義には、新しい **provision-tag** を含めることができます。SIP 電話機の場合、音声登録プール配下に **provision-tag** 情報が必要です。詳細については、[一時 MAC アドレスを使用した Ephone の構成 \(22 ページ\)](#) を参照してください。

```
telephony-service
 extension-assigner tag-type provision-tag
 auto assign 101 to 105
 ephone-dn 1 dual-line
 number 6001
 ephone-dn 101
 number 0001
 label Temp-Line-not assigned yet
 ephone 1
 provision-tag 6001
 mac-address 02EA.EAEA.0001
 button 1:1
*****
```

```
voice register pool 1
 provision-tag 1001
 mac-address 02EA.EAEA.0001
 number 1 dn 101
```

割り当てる各内線番号に対して 2 つの **ephone-dn** または音声登録 **dn** を構成する必要があるため、**max-dn** 設定を超過することがあります。Extension Assigner を使用して、ライセンスされた電話機を登録するため、**max-dn** の値を、ライセンスによって許可される数よりも大きく設定できます。

max-dn が十分に大きく設定されている場合は、**max-ephone** または **max-pool** 設定によって、一度に接続できる電話機の数決定されます。たとえば、**max-ephone** または **max-pool** 設定が内線番号を割り当てる電話機の数よりも 10 大きい場合は、一度に 10 台の電話機を接続できます。11 台の電話機を接続した場合、1 台の電話機は、最初の 10 台の電話機のいずれかに内線番号を割り当てて 11 台目の電話機をリセットするまで、登録されず、または一時内線番号を取得しません。

ephone または音声登録プール、**ephone-dn** または音声登録 **dn** エントリを構成したら、オプションとして構成を自動的に保存するようにルータを設定して、ルータ構成を完了します。ルータ設定を保存しない場合、インストール技術者による内線番号の割り当ては、ルータの再起動時に失われます。このオプションの手順を実行する代わりに、インストール技術者は、ルータに接続し、**write memory** コマンドを入力して、ルータ構成を保存することもできます。

システム管理者の最後の作業は、インストール技術者が新しい電話機に内線番号を割り当てるために必要な情報をドキュメント化することです。このドキュメントは、この機能を実装する

ために Cisco Unified Cisco Mobility Express を構成する場合にも、ガイドとして使用できます。この情報には、次のものが含まれます。

- インストール技術者が一度に接続できる電話機の数
- Extension Assigner アプリケーションにアクセスするためにダイヤルする内線番号
- 電話機がオフフック状態になったときに、その番号が自動的にダイヤルされるかどうか
- アプリケーションにアクセスするために入力するパスワード
- 各電話機に内線番号を割り当てるために入力するタグ番号



- (注) この機能は Tcl スクリプトとオーディオファイルを使用して実装されるため、正しいディレクトリにスクリプトおよび関連付けられたオーディオプロンプトファイルを配置する必要があります。このスクリプトは編集しないでください。適切なスクリプトをロードするように Cisco Unified CME を設定するだけにしてください。

混合展開での Extension Assigner

Cisco Unified Cisco Mobility Express リリース 11.6 以降、Extension Assigner 機能は、SCCP 電話と SIP 電話の混合展開をサポートします。混合展開のシナリオでは、SCCP 電話機を SIP 電話機に移行または交換する必要がある場合があります。その逆も同様です。Extension Assigner 機能は、(SIP または SCCP に関係なく) 内線番号を新しい電話に割り当てることにより、このシナリオでのシームレスな移行エクスペリエンスを保証します。

混合モード展開では、現在の内線番号を新しい電話に再割り当てできます。このタスクを実行するために Extension Assigner システムにダイヤルインすると、割り当て解除メニューにリダイレクトされます。現在の内線番号の割り当てを解除して、どの電話機にも割り当てられないようにする必要があります。内線番号の割り当てが正常に解除されると、通話が切断されます。Extension Assigner に再度ダイヤルすると、内線番号を新しい電話機に再割り当てできます。詳細については、[現在の内線番号の再割り当て \(34 ページ\)](#) を参照してください。



- (注) 使用中の電話機の内線番号の割り当てを解除することはできません。電話機はアイドル状態または未登録状態である必要があります。

インストール技術者の手順

この機能は、Tcl スクリプトとオーディオプロンプトファイルを使用して実装されます。この機能によって、インストール技術者は次の手順を実行することにより、新しい Cisco Unified CME 電話に内線番号を割り当てることができます。システム管理者は、この手順を実行するために必要なすべての情報をインストール技術者に提供します。

ステップ 1 指定された数の新しい電話機を接続します。

ステップ 2 一時的なランダム内線番号が電話機に割り当てられるまで待ちます。

ステップ 3 指定された番号をダイヤルし、Extension Assigner アプリケーションにアクセスします。

ステップ4 指定されたパスワードを入力します。

ステップ5 内線番号を識別し、インストール技術者が次のいずれかの作業を実行できるようにするためのタグを入力します。

- 電話機に新しい内線番号を割り当てます。
- 現在の内線番号の割り当てを解除します。
- 内線番号を再割り当てします。

このリリースに含まれるファイル

Extension Assigner 機能のために提供される `app-cme-ea-2.0.0.0.tar` 以降のアーカイブ ファイルには、`readme` ファイル、`Tcl` スクリプト、および複数のオーディオプロンプト ファイルが含まれています。英語以外の言語を使用するファイルで、オーディオ ファイルを置き換える場合は、ファイルの名前を変更しないでください。`Tcl` スクリプトは、次のファイル名のリストだけを使用するように記述されています。

- `app-cme-ea-2.0.0.0.tcl` (スクリプト)
- `en_cme_tag_assign_phone.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_assigned_to_phone.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_assigned_to_phone_idle.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_assigned_to_phone_inuse.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_assigned_to_phone_unreg.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_available.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_extension.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_invalid.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_unassign_phone.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_action_cancelled.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_assign_failed.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_assign_success.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_contact_admin.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_disconnect.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_ephone_tagid.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_invalid_password.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_invalidoption.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_noentry.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_password.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_unassign_failed.au` (オーディオ ファイル)
- `en_cme_tag_unassign_success.au` (オーディオ ファイル)
- `en_eight.au` (オーディオ ファイル)
- `en_five.au` (オーディオ ファイル)

- en_four.au (オーディオ ファイル)
- en_nine.au (オーディオ ファイル)
- en_one.au (オーディオ ファイル)
- en_seven.au (オーディオ ファイル)
- en_six.au (オーディオ ファイル)
- en_three.au (オーディオ ファイル)
- en_two.au (オーディオ ファイル)
- en_zero.au (オーディオ ファイル)
- readme.txt

Extension Assigner の同期

Extension Assigner 同期を有効化すると、セカンダリバックアップルータは Extension Assigner がプライマリルータの ephone または音声登録プール MAC アドレスに行った変更を自動受信できません。同期は、Cisco Unified CME XML インターフェイスを使用して実行されます。Cisco Unified Cisco Mobility Express XML クライアントは、**ISexecCLI** リクエストに構成変更をカプセル化し、HTTP を使用してセカンダリバックアップルータに送信します。セカンダリバックアップ側のサーバは、着信 XML 要求を処理し、Cisco IOS CLI パーサーを呼び出して更新を実行します。

構成情報については、[Extension Assigner 同期の構成](#)を参照してください。

Extension Assigner の構成

次の作業は、Extension Assigner の設定に責任を負う管理者またはその他の担当者が実行します。

新しい電話機に割り当てる内線番号の決定と構成計画

各電話機に割り当てる内線番号を決定した後に、次のことを決定する必要があります。

- Extension Assigner アプリケーションにアクセスするためにダイヤルする必要がある内線番号。
- 電話機がオフフック状態になったときに、その番号が自動的にダイヤルされるかどうか。
- Extension Assigner アプリケーションにアクセスするためにインストール技術者が入力する必要があるパスワード。
- 電話機に割り当てる内線番号の識別のため、ephone-tag (SCCP 電話機のみ該当) または provision-tag 番号のいずれかを使用します。
- 設定する一時内線番号の数。これにより、一時 ephone-dns または voice register dns および一時 MAC アドレスの構成数を決定します。
- 電話機に割り当てる内線番号を識別するために使用する特定のタグ番号。

Tcl スクリプトと音声プロンプトファイルのダウンロード

Extension Assigner 機能用の Tcl スクリプトとオーディオプロンプトファイルをダウンロードするには、次の手順を実行します。

Tcl スクリプトの使用方法の詳細については、使用している Cisco IOS リリースの『Cisco IOS Tcl IVR および音声 XML アプリケーションガイド』を参照してください。



(注) Tcl スクリプトは編集しないでください。

手順の概要

1. Cisco Unified Cisco Mobility Express ソフトウェアダウンロード Web サイト (<http://software.cisco.com/download/type.html?mdfid=277641082&catid=null>) にアクセスします。
2. Cisco Unified Cisco Mobility Express Extension Assigner tar アーカイブを Cisco Unified Cisco Mobility Express ルータからアクセスできる TFTP サーバーにダウンロードします。
3. **enable**
4. **archive tar /xtract source-url destination-url**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | Cisco Unified Cisco Mobility Express ソフトウェアダウンロード Web サイト (http://software.cisco.com/download/type.html?mdfid=277641082&catid=null) にアクセスします。 | Cisco Unified Cisco Mobility Express ソフトウェアダウンロードにアクセスできます。 |
| ステップ 2 | Cisco Unified Cisco Mobility Express Extension Assigner tar アーカイブを Cisco Unified Cisco Mobility Express ルータからアクセスできる TFTP サーバーにダウンロードします。 | <ul style="list-style-type: none"> • この tar アーカイブには、Extension Assigner サービスのために必要な Extension Assigner Tcl スクリプトとデフォルトオーディオファイルが格納されています。 |
| ステップ 3 | enable 例： Router> enable | グローバル構成モードを開始します |
| ステップ 4 | archive tar /xtract source-url destination-url 例： Router# archive tar /xtract tftp://192.168.1.1/app-cme-ea-2.0.0.0.tar flash: | <p>アーカイブファイル内のファイルを圧縮解除し、Cisco Unified Cisco Mobility Express ルータがアクセスできる場所にコピーします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>source-url</i> — Extension Assigner TAR ファイルのソース URL。有効な URL として、TFTP または HTTP サーバ、あるいはフラッシュメモリを指定できます。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | <ul style="list-style-type: none"> • <i>location</i>—Tcl スクリプトとオーディオファイルを含む Extension Assigner TAR ファイルのダウンロード先 URL。有効な URL として、TFTP または HTTP サーバ、あるいはフラッシュメモリを指定できます。 |

Tcl スクリプトの構成

Extension Assigner 機能用の Tcl スクリプトを設定およびロードし、インストール技術者が Extension Assigner アプリケーションにアクセスするために入力するパスワードを作成するには、次の手順を実行します。

Tcl スクリプトの使用方法的詳細については、使用している Cisco IOS リリースの『[Cisco IOS Tcl IVR および音声 XML アプリケーションガイド](#)』を参照してください。



(注) パスワードを変更するには、既存の Extension Assigner サービスを削除して、新しいパスワードを定義する新しいサービスを作成する必要があります。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **application**
4. **service *service-name location***
5. **param ea-password** パスワード
6. **paramspace english index *number***
7. **paramspace english language *en***
8. **paramspace english location *location***
9. **paramspace english prefix *en***
10. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： <pre>Router> enable</pre> | 特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： <pre>Router# configure terminal</pre> | グローバル構成モードを開始します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 3 | application 例： <pre>Router(config)# application</pre> | application コンフィギュレーション モードを開始し、パッケージとサービスを設定します。 |
| ステップ 4 | service service-name location 例： <pre>Router(config-app)# service EA flash:/EA/</pre> | service parameter コンフィギュレーション モードを開始し、 call-queue サービスのパラメータを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>service-name</i> — Extension Assigner サービスの名前。この任意の名前は、構成作業中にサービスの識別に使用されます。 • <i>location</i> — Extension Assigner サービス用の Tcl スクリプトの URL。有効な URL として、TFTP または HTTP サーバ、あるいはフラッシュ メモリを指定できます。 |
| ステップ 5 | param ea-password パスワード 例： <pre>Router(config-app-param)# param ea-password 1234</pre> | Extension Assigner アプリケーションにアクセスするためにインストール技術者が入力するパスワードを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>password</i> — Extension Assigner アプリケーションにアクセスするためにインストール技術者が入力する数値のパスワード。長さ：2～10桁。 |
| ステップ 6 | paramspace english index number 例： <pre>Router(config-app-param)# paramspace english index 0</pre> | IVR アプリケーションでダイナミック プロンプトに使用されるオーディオ ファイルの言語を定義します。 <ul style="list-style-type: none"> • Extension Assigner では、言語を英語、プレフィックスを en にする必要があります。 |
| ステップ 7 | paramspace english language en 例： <pre>Router(config-app-param)# paramspace english language en</pre> | IVR アプリケーションでダイナミック プロンプトに使用されるオーディオ ファイルの言語を定義します。 <ul style="list-style-type: none"> • Extension Assigner では、言語を英語、プレフィックスを en にする必要があります。 |
| ステップ 8 | paramspace english location location 例： <pre>Router(config-app-param)# paramspace english location flash:/EA/</pre> | IVR アプリケーションでダイナミック プロンプトに使用されるオーディオ ファイルの場所を定義します。 <ul style="list-style-type: none"> • Extension Assigner では、言語を英語にする必要があります。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | <ul style="list-style-type: none"> • <i>location</i> — Extension Assigner サービス用の Tcl スクリプトの URL。有効な URL として、TFTP または HTTP サーバ、あるいはフラッシュ メモリを指定できます。 |
| ステップ 9 | paramspace english prefix en 例： <pre>Router(config-app-param)# paramspace english prefix en</pre> | IVR アプリケーションでダイナミック プロンプトに使用されるオーディオファイルのプレフィックスを定義します。 <ul style="list-style-type: none"> • Extension Assigner では、言語を英語、プレフィックスを en にする必要があります。 |
| ステップ 10 | end 例： <pre>Router(config-app-param)# end</pre> | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

Extension Assigner アプリケーションにアクセスする内線番号の指定

インストール技術者がオンサイトでのインストール中に Extension Assigner アプリケーションにアクセスするためにダイヤルする必要がある内線番号を指定するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **dial-peer voice tag voip**
4. **service service-name out-bound**
5. **destination-pattern string**
6. **session protocol sipv2**
7. **session target ipv4: destination-address**
8. **dtmf-relay rtp-nte**
9. **codec g711ulaw**
10. **no vad**
11. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： <pre>Router> enable</pre> | 特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 3 | dial-peer voice tag voip 例： Router(config)# dial-peer voice 5999 voip | ダイヤルピア コンフィギュレーション モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none">• tag— このダイヤルピアを識別するために構成タスク中に使用される番号。 |
| ステップ 4 | service service-name out-bound 例： Router(config-dial-peer)# service extensionassigner out-bound | ダイヤルピアで Extension Assigner アプリケーションをロードし、設定します。 <ul style="list-style-type: none">• service-name— 名前は、「Tcl スクリプトの構成」項で Extension Assigner Tcl スクリプトをロードするために使用した名前と一致している必要があります。• outbound— Extension Assigner に必要です。 |
| ステップ 5 | destination-pattern string 例： Router(config-dial-peer)# destination pattern 1010 | (ダイヤルプランに応じて) ダイヤルピアに使用するプレフィックスまたは完全な E.164 電話番号を指定します。 <ul style="list-style-type: none">• string— 内線番号を電話機に割り当てる際に、インストール技術者が発信する番号。 |
| ステップ 6 | session protocol sipv2 例： Router(config-dial-peer)# session protocol sipv2 | Extension Assigner アプリケーションの SIP ループバックリンクを指定します。 |
| ステップ 7 | session target ipv4: destination-address 例： Router(config-dial-peer)# session target ipv4:172.16.200.200 | VoIP ダイヤルピアからコールを受信するためのネットワーク固有アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none">• destination- このルータの Cisco Unified Cisco Mobility Express インターフェイスの IP アドレス。 |
| ステップ 8 | dtmf-relay rtp-nte 例： Router(config-dial-peer)# dtmf-relay rtp-nte | RFC2833 とおり、2 台のデバイス間でデュアルトーン多重周波数 (DTMF) トーンをリレーするメソッドを指定します。 |
| ステップ 9 | codec g711ulaw 例： Router(config-dial-peer)# codec g711ulaw | ダイヤルピアに対する音声の音声コーデラートを指定します。 <ul style="list-style-type: none">• g711ulaw- 正しい音声デコーデラートを表すオプション。g711ulaw は、Extension Assigner ア |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| | | アプリケーションでサポートされる唯一のコーデックです。 |
| ステップ 10 | no vad 例： Router(config-dial-peer)# no vad | 特定のダイヤルピアを使用しているコールの音声アクティビティ検出 (VAD) を無効にします。 • Extension Assigner に必要です。 |
| ステップ 11 | end 例： Router(config-dial-peer)# end | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

Extension Assigner 機能用の Provision-Tag の構成

provision-tag を使用するように Extension Assigner を変更するには、次の手順を実行します。デフォルトでは、Extension Assigner は有効になり、ephone タグを使用します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service**
4. **extension-assigner tag-type { ephone-tag | provision-tag }**
5. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 3 | telephony-service 例： Router(config)# telephony-service | telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。 |
| ステップ 4 | extension-assigner tag-type { ephone-tag provision-tag } 例： | Extension Assigner の内線番号を識別するために使用するタグ タイプを指定します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | Router(config-telephony)# extension-assigner tag-type provision-tag | <ul style="list-style-type: none"> • ephone-tag - Extension Assigner が ephone タグを使用して電話機に割り当てる内線番号を識別するか指定します。インストール技術者は、この番号を入力して、電話機に内線番号を割り当てます。 • provision-tag - Extension Assigner が、provision-tag を使用して、電話機に割り当てる内線番号を識別することを指定します。インストール技術者は、この番号を入力して、電話機に内線番号を割り当てます。 |
| ステップ 5 | end 例 : Router(config-telephony)# end | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

Extension Assigner を使用する SCCP 電話機に一時的な内線番号を構成する

Extension Assigner が内線番号を割り当てる電話機の一時内線番号として使用される ephone-dn を作成するには、作成する各一時番号で次の手順を実行します。



ヒント スクリプトに付属する readme ファイルには、ニーズに合わせて編集できるこの手順のサンプルエントリが含まれています。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn dn-tag [dual-line]**
4. **number number [secondary number] [no-reg [both | primary]]**
5. **trunk digit-string [timeout seconds]**
6. **name name**
7. **exit**
8. **telephony-service**
9. **auto assign dn-tag to dn-tag**
10. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none">プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 3 | ephone-dn dn-tag [dual-line] 例： Router(config)# ephone-dn 90 | ephone-dn コンフィギュレーション モードを開始し、ephone-dn を作成し、任意でデュアルラインステータスを割り当てます。 (注) 一時内線番号に対してシングルラインモードを使用することを推奨します。 |
| ステップ 4 | number number [secondary number] [no-reg [both primary]] 例： Router(config-ephone-dn)# number 9000 | この ephone-dn インスタンスに対して有効な内線番号を設定します。 |
| ステップ 5 | trunk digit-string [timeout seconds] 例： Router(config-ephone-dn)# trunk 5999 | (任意) Extension Assigner アプリケーションにアクセスするために自動的にダイヤルする内線番号を設定します。 <ul style="list-style-type: none">digit-string - Extension Assigner アプリケーションにアクセスする内線番号の指定項で構成した番号と一致する必要があります。 |
| ステップ 6 | name name 例： RRouter(config-ephone-dn)# name hardware | (任意) この ephone-dn インスタンスに名前を関連付けます。この名前は、発信者 ID 表示とローカルディレクトリ リストに使用されます。 <ul style="list-style-type: none">directory コマンドで指定した名前順に従う必要があります。 |
| ステップ 7 | exit 例： Router(config-ephone-dn)# exit | ephone-dn コンフィギュレーションモードを終了します。 |
| ステップ 8 | telephony-service 例： Router(config)# telephony-service | telephony-service コンフィギュレーションモードを開始します。 |

Extension Assigner を使用する SIP 電話機に一時的な内線番号を構成する

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 9 | auto assign dn-tag to dn-tag 例： <pre>Router(config-telephony)# auto assign 90 to 99</pre> | Cisco Unified Cisco Mobility Express ルータをでサービスに登録する際、ephone-dn タグを Cisco Unified IP Phone に自動的に割り当てます。 <ul style="list-style-type: none"> これは、以前の手順で設定したタグと一致している必要があります。 |
| ステップ 10 | end 例： <pre>Router(config-telephony)# end</pre> | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

Extension Assigner を使用する SIP 電話機に一時的な内線番号を構成する

内線番号が Extension Assigner によって割り当てられる電話機に対して、一時内線番号として使用する音声登録 dn を作成するには、作成する一時内線番号ごとに次の手順を実行します。



ヒント スクリプトに付属する readme ファイルには、ニーズに合わせて編集できるこの手順のサンプルエントリが含まれています。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register global**
4. **auto-register**
5. **password string**
6. **auto-assign first dn to last dn**
7. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： <pre>Router> enable</pre> | 特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： <pre>Router# configure terminal</pre> | グローバル構成モードを開始します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 3 | voice register global 例： Router(config)# voice register global | 音声登録グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 4 | auto-register 例： Router(config-register-global)# auto-register | 自動登録構成モードを開始します。 |
| ステップ 5 | password string 例： Router(config-voice-auto-register)# password xxxx | 自動登録された電話機のデフォルトパスワードを指定します。 |
| ステップ 6 | auto-assign first dn to last dn 例： Router(config-voice-auto-register)# auto-assign 90 to 99 | Cisco Unified Cisco Mobility Express ルータをでサービスに登録する際、これらの内線番号がある音声登録 dn を Cisco Unified IP Phone に自動で割り当てます。 |
| ステップ 7 | end 例： Router(config-voice-auto-register)# end | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

インストール技術者が SCCP 電話機に割り当てることができる内線番号の構成

インストール技術者が電話機に割り当てることができる内線番号用の ephone-dn を作成するには、作成する各ディレクトリ番号に対して次の手順を実行します。



ヒント この機能に付属する readme ファイルには、ニーズに合わせて編集できるサンプルエントリが含まれています。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn dn-tag [dual-line]**
4. **number number [secondary number] [no-reg [both | primary]]**
5. **trunk digit-string [timeout seconds]**
6. **name name**
7. **exit**
8. **telephony-service**
9. **auto assign dn-tag to dn-tag**

10. end

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 3 | ephone-dn dn-tag [dual-line] 例： Router(config)# ephone-dn 20 | ephone-dn コンフィギュレーションモードを開始し、ephone-dn を作成し、任意でデュアルラインステータスを割り当てます。 (注) デュアルラインモードとシングルラインモードの間で ephone-dn を切り替えるには、まず ephone-dn を削除してから、再作成します。 |
| ステップ 4 | number number [secondary number] [no-reg [both primary]] 例： Router(config-ephone-dn)# number 9000 | この ephone-dn インスタンスに対して有効な内線番号を設定します。 |
| ステップ 5 | trunk digit-string [timeout seconds] 例： Router(config-ephone-dn)# trunk 5999 | (任意) Extension Assigner アプリケーションにアクセスするために自動的にダイヤルする内線番号を設定します。 • digit-string - Extension Assigner アプリケーションにアクセスする内線番号の指定項 で構成した番号と一致する必要があります。 |
| ステップ 6 | name name 例： Router(config-ephone-dn)# name hardware | (任意) この ephone-dn インスタンスに名前を関連付けます。この名前は、発信者 ID 表示とローカルディレクトリリストに使用されます。 • directory コマンドで指定した名前順に従う必要があります。 |
| ステップ 7 | exit 例： Router(config-ephone-dn)# exit | ephone-dn コンフィギュレーションモードを終了します |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 8 | telephony-service 例： Router(config)# telephony-service | telephony-service コンフィギュレーションモードを開始します。 |
| ステップ 9 | auto assign dn-tag to dn-tag 例： Router(config-telephony)# auto assign 90 to 99 | Cisco Unified Cisco Mobility Express ルータをでサービスに登録する際、ephone-dn タグを Cisco Unified IP Phone に自動的に割り当てます。 • これは、以前の手順で設定したタグと一致している必要があります。 |
| ステップ 10 | end 例： Router(config-telephony)# end | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

インストール技術者が SIP 電話機に割り当てることができる内線番号の構成

インストール技術者が電話機に割り当てることができる内線番号用の音声登録 dn を作成するには、作成する各ディレクトリ番号に対して次の手順を実行します。



ヒント この機能に付属する readme ファイルには、ニーズに合わせて編集できるサンプルエントリが含まれています。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register dn tag**
4. **number number**
5. **name name**
6. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 3 | voice register dn tag 例： Router(config)# voice register dn 20 | 音声登録 dn 構成モードを開始し、音声登録 dn を作成します。 |
| ステップ 4 | number number 例： Router(config-register-dn)# number 20 | この音声登録 dn インスタンス用の有効な内線番号を構成します。 |
| ステップ 5 | name name 例： Router(config-register-dn)# name hardware | (オプション) 名前をこの音声登録 dn インスタンスに関連付けます。この名前は、発信者 ID 表示とローカルディレクトリリストに使用されます。 • directory コマンドで指定した名前順に従う必要があります。 |
| ステップ 6 | end 例： Router(config-register-dn)# end | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

一時 MAC アドレスを使用した Ephone の構成



制約事項 インストール技術者が内線番号を割り当てる Cisco Unified Cisco Mobility Express 電話機の一時 MAC アドレスで ephone 構成を作成するには、各電話機に対して次の手順を実行します。

- max-ephone 設定によって、一度に接続できる電話機の数決定されます。たとえば、max-ephone 設定が内線番号を割り当てる電話機の数よりも 10 大きい場合は、一度に 10 台の電話機を接続できます。11 台の電話機を接続した場合、1 台の電話機は、最初の 10 台の電話機のいずれかに内線番号を割り当てて 11 台目の電話機をリセットするまで、登録されず、または一時内線番号を取得しません。
- Extension Assigner を備えた Cisco VG224 アナログ音声ゲートウェイでは、最低 24 の一時 ephone が必要です。



ヒント この機能に付属する readme ファイルには、ニーズに合わせて編集できるこの手順のサンプルエントリがいくつか含まれています。

始める前に

自動登録機能により、一時的内線番号に対して少なくとも 1 つの ephone を作成できるように、**max-ephone** コマンドは、内線番号を割り当てる電話機の数よりも最低 1 つ大きい値に設定する必要があります。



(注) Extension Assigner を使用して、ライセンスされた電話機を登録できるよう、**max-ephone** の値を、Cisco Unified CME ライセンスによってサポートされているユーザの数よりも大きく設定することができます。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **enable phone-tag**
4. **provision-tag number**
5. **mac-address 02EA.EAEA. number**
6. **type phone-type [addon 1 module-type [2 module-type]]**
7. **button button-number{separator}dn-tag**
8. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 3 | enable phone-tag 例： Router(config)# ephone 20 | ephone コンフィギュレーションモードを開始します。 • phone-tag - 最大番号は、バージョンとプラットフォーム固有です。? と入力します範囲が表示されます。 • Extension Assigner で ephone-tag が使用される場合に (デフォルト)、インストール技術者が電話機に内線番号を割り当てるときに入力する番号。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 4 | provision-tag number 例： <pre>Router(config-ephone)# provision-tag 20</pre> | (任意) 割り当てられる内線番号を識別するために、Extension Assigner によって使用される一意のシーケンス番号を作成します。 <ul style="list-style-type: none"> • extension-assigner tag-type コマンドと provision-tag 機を構成した場合のみ必要です。 |
| ステップ 5 | mac-address 02EA.EAEA. number 例： <pre>Router(config-ephone)# mac-address 02EA. EAEA. 0020</pre> | この ephone に対して一時 MAC アドレス番号を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • Extension Assigner の場合、MAC アドレスは、02EA.EAEA. から開始する必要があります。 • number - この番号を ephone 番号と同じにすることを強くお勧めします。 |
| ステップ 6 | type phone-type [addon 1 module-type [2 module-type]] 例： <pre>Router(config-ephone)# type 7960 addon 1 7914</pre> | 電話機のタイプを指定します。 |
| ステップ 7 | button button-number{separator}dn-tag 例： <pre>Router(config-ephone)# button 1:1</pre> | ボタン番号と回線の特性を内線番号 (ephone-dn) に関連付けます。 <ul style="list-style-type: none"> • ボタンの最大数は電話機のタイプによって決まります。 (注) Cisco Unified IP Phone 7910 の回線ボタンは 1 つだけですが、2 つの ephone-dn タグを割り当てることができます。 |
| ステップ 8 | end 例： <pre>Router(config-ephone)# end</pre> | 特権 EXEC モードに戻ります |

一時 MAC アドレスを使用した音声登録プールの構成



制約事項

- Max-pool 設定により、一度に接続できる電話機数が決定されます。たとえば、max-ephone 構成が内線番号を割り当てる電話機の数よりも 10 大きい場合は、一度に 10 台の電話機を接続できます。11 台の電話機を接続した場合、1 台の電話機は、最初の 10 台の電話機のいずれかに内線番号を割り当てて 11 台目の電話機をリセットするまで、登録されず、または一時内線番号を取得しません。



ヒント この機能に付属する `readme` ファイルには、ニーズに合わせて編集できるこの手順のサンプル エントリがいくつか含まれています。

始める前に

自動登録機能により、一時的内線番号に対して少なくとも 1 つの `ephone` を作成できるように、**max-pool** コマンドは、内線番号を割り当てる電話機の数よりも最低 1 つ大きい値に設定する必要があります。



- (注)
- Extension Assigner を使用して、ライセンスされた電話機を登録できるよう、`max-pool` 値を、Cisco Unified Cisco Mobility Express ライセンスによってサポートされているユーザー数よりも大きく設定することができます。
 - 割り当てまたは割り当て解除操作のために Extension Assigner アプリケーションを呼び出す必要がある電話機の場合、`g711ulaw` コーデックと `dtmf-relay as rtp-nte` を音声登録プールで構成する必要があります。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register pool *pool-tag***
4. **provision-tag *number***
5. **mac-address 02EA.EAEA. *number***
6. **type *phone-type* [**addon 1** *module-type* [2 *module-type*]]**
7. **number *number dn dn-tag***
8. **dtmf-relay rtp-nte**
9. **codec *g711ulaw***
10. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 3 | voice register pool <i>pool-tag</i> 例： <pre>Router(config)# voice register pool 20</pre> | 音声レジスタプールコンフィギュレーションモードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> • phone-tag- 最大番号は、バージョンとプラットフォーム固有です。?と入力します範囲が表示されます。 • 内線番号を電話機に割り当てる際に、インストール技術者が入力する番号。 |
| ステップ 4 | provision-tag <i>number</i> 例： <pre>Router(config-register-pool)# provision-tag 20</pre> | Extension Assigner が割り当てる内線番号を指定するために使用する固有のシーケンス番号を作成します。 <ul style="list-style-type: none"> • extension-assigner tag-type コマンドと provision-tag 機を構成した場合のみ必要です。 |
| ステップ 5 | mac-address 02EA.EAEA. <i>number</i> 例： <pre>Router(config-register-pool)# mac-address 02EA.EAEA. 0020</pre> | この電話機の一時 MAC アドレス番号を指定します。 <ul style="list-style-type: none"> • Extension Assigner の場合、MAC アドレスは、02EA.EAEA. から開始する必要があります。 • number- この番号を音声登録プール番号と同じにすることを強くお勧めします。 |
| ステップ 6 | type <i>phone-type</i> [addon 1 <i>module-type</i> [2 <i>module-type</i>]] 例： <pre>Router(config-register-pool)# type 8860 addon 1 CKEM 2</pre> | 電話機のタイプを指定します。 |
| ステップ 7 | number <i>number</i> dn <i>dn-tag</i> 例： <pre>Router(config-register-pool)# number 1 dn 1</pre> | 番号と回線の特性を内線番号（音声登録 dn）と関連付けます。 |
| ステップ 8 | dtmf-relay rtp-nte 例： <pre>Router(config-register-pool)# dtmf-relay rtp-nte</pre> | （オプション）RFC2833 どおり、2 台のデバイス間でデュアルトーン多重周波数（DTMF）トーンをリレーするメソッドを指定します この構成は、Extension Assigner アプリケーションを使用して割り当てまたは割り当て解除操作を実行する場合にのみ必要です。 |
| ステップ 9 | codec <i>g711ulaw</i> 例： <pre>Router(config-register-pool)# codec g711ulaw</pre> | （オプション）ダイヤルピアに対する音声の音声コーデックレートを指定します。この構成は、Extension Assigner アプリケーションを使用して割 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|---------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | <p>り当てまたは割り当て解除操作を実行する場合にのみ必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>g711ulaw</i> - 正しい音声デコーダレートを表すオプション。 <i>g711ulaw</i> は、Extension Assigner アプリケーションでサポートされる唯一のコーデックです。 |
| ステップ 10 | end 例： <pre>Router(config-register-pool)# end</pre> | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

構成を自動保存するルータの構成

ルータの再起動時にルータの設定を自動的に保存するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **kron policy-list** *list-name*
4. **cli write**
5. **exit**
6. **kron occurrence** *occurrence-name* [**user** *username*] [[**in** *numdays:*] *numhours:*] *nummin* { **oneshot** | **recurring** }
7. **policy-list** *list-name*
8. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： <pre>Router> enable</pre> | <p>特権 EXEC モードを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： <pre>Router# configure terminal</pre> | グローバル構成モードを開始します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 3 | kron policy-list <i>list-name</i> 例： <pre>Router(config)# kron policy-list save-config</pre> | 新規または既存のコマンドスケジューラ ポリシーリストの名前を指定し、 kron-policy コンフィギュレーション モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> • list-name 引数の値が、新しい場合、新しいポリシーリスト構造が作成されます。 • list-name 引数の値が既存する場合、既存のポリシーリスト構造にアクセスします。編集機能はありません。ポリシーリストは設定した順序で実行されます。 (注) telephony-service で構成した CLI コマンド background save interval を使用して Unified Cisco Mobility Express に自動保存することもできます。これは kron コマンドの代替コマンドです。 |
| ステップ 4 | cli write 例： <pre>Router(config-kron-policy)# cli write</pre> | コマンドスケジューラ ポリシー リストのエントリとして追加される完全修飾 EXEC コマンドおよび関連する構文を指定します。 |
| ステップ 5 | exit 例： <pre>Router(config-kron-policy)# exit</pre> | グローバル構成モードに戻ります。 |
| ステップ 6 | kron occurrence <i>occurrence-name</i> [user <i>username</i>] [[in <i>numdays:</i>] <i>numhours:</i>] <i>nummin</i> { oneshot recurring } 例： <pre>Router(config)# kron occurrence backup in 30 recurring</pre> | コマンドスケジューラ オカレンスのスケジュールパラメータを指定して、 kron-occurrence コンフィギュレーション モードを開始します。 <ul style="list-style-type: none"> • 30分ごとに設定を保存するようにルータを設定することを推奨します。 • occurrence-name- オカレンス名を指定します。オカレンス名の長さは 1 ~ 31 文字です。occurrence-name が新規の場合、オカレンス構造が作成されます。occurrence-name が新規でない場合は、既存のオカレンスが編集されます。 • user- (オプション) 特定のユーザーを測定するために使用されます。 • username- ユーザー名。 • in- 指定した時間間隔後に実行するオカレンスを指定します。オカレンスが設定されると、タイマーが開始されます。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | <ul style="list-style-type: none"> • numdays:- (オプション) 日数。使用する場合、数値の後にコロンを追加します。 • numhours:- (オプション) 時間数。使用する場合、数値の後にコロンを追加します。 • nummin:- (オプション) 分数。 • oneshot- オカレンスを 1 回だけ実行するように指定します。オカレンスの実行後、設定は削除されます。 • recurring- オカレンスを繰り返し実行するように指定します。 |
| ステップ 7 | policy-list <i>list-name</i> 例： <pre>Router(config-kron-occurrence)# policy-list save-config</pre> | コマンドスケジューラ ポリシー リストを指定します。 |
| ステップ 8 | end 例： <pre>Router(config-kron-occurrence)# end</pre> | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

インストール技術者に対する必要情報の提供

インストール技術者が新しい電話機に内線番号を割り当てる前に、次の情報を提供する必要があります。

- インストール技術者が一度に接続できる電話機の数。これは、設定した一時 MAC アドレスの数によって決定されます。
- Extension Assigner アプリケーションにアクセスするためにダイヤルする内線番号。
- 電話機がオフフック状態になったときに、その番号が自動的にダイヤルされるかどうか (SCCP 電話機のみが該当)。
- アプリケーションにアクセスするために入力するパスワード。
- 各電話機に内線番号を割り当てるために入力するタグ番号。

Extension Assigner 同期の構成

セカンダリバックアップルータの XML インターフェイスの構成

プライマリルータからの構成変更情報を受信するために必要な XML インターフェイスをアクティブ化するセカンダリ バックアップ ルータを構成するには、次の手順を実行します。



(注) 自動同期中にプライマリルータとセカンダリバックアップルータ間に HTTP の接続問題が発生した場合、Extension Assigner の同期変更は失われます。



制約事項

- 新しいルータまたは交換ルータに対する自動同期はサポートされていません。
- Extension Assigner の事前設定は、セカンダリ バックアップ ルータで、手動で実行する必要があります。

始める前に

- Cisco IOS XML インフラストラクチャ (IXI) を介して提供される XML インターフェイスを構成する必要があります。 [「XML API の構成」](#) を参照してください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service | voice register global**
4. **xml user user-name password password privilege-level**
5. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 3 | telephony-service voice register global 例 : <pre>Router(config)# telephony-service Router(config)# voice register global</pre> | telephony-service 構成モードか音声登録グローバルモードを開始します。 |
| ステップ 4 | xml user user-name password password privilege-level 例 : <pre>Router(config-telephony)# xml user user23 password 3Rs92uzQ 15 Router(config-register-global)# xml user user23 password 3Rs92uzQ 15</pre> | 承認されたユーザを定義します。 <ul style="list-style-type: none"> • <i>user-name</i>— 承認ユーザーのユーザー名。 • <i>password</i>— アクセスに使用するパスワード。 • <i>privilege-level</i>— このユーザーに付与される Cisco IOS コマンドへのアクセス権のレベル。同じレベルまたはそれよりも低いレベルのコマンドのみ、XML で実行できます。範囲は 0 ~ 15 です。 |
| ステップ 5 | end 例 : <pre>Router(config-telephony)# end Router(config-register-global)# end</pre> | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

プライマリルータの Extension Assigner 同期の構成

セカンダリ バックアップルータとの自動同期を有効にするようプライマリ ルータを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

- セカンダリ バックアップルータに対する XML インターフェイスが設定されている。[セカンダリバックアップルータの XML インターフェイスの構成](#)を参照してください。
- セカンダリ バックアップルータの IP アドレスは、telephony-service 構成モードで **ip source-address** コマンドを使用して事前に構成されている必要があります。



(注) MAC アドレス、プールタグ、電話機タイプなどの電話構成は、Extension Assigner 機能の同期の一部として保存されます。

手順の概要

1. enable

2. **configure terminal**
3. **telephony-service | voice register global**
4. **standby username *username* password *password***
5. **end**

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ 1 | enable 例： Router> enable | 特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | configure terminal 例： Router# configure terminal | グローバル構成モードを開始します。 |
| ステップ 3 | telephony-service voice register global 例： Router(config)# telephony-service Router(config)# voice register global | telephony-service 構成モードか音声登録グローバルモードを開始します。 |
| ステップ 4 | standby username <i>username</i> password <i>password</i> 例： Router(config-telephony)# standby username user23 password 3Rs92uzQ Router(config-register-global)# standby username user23 password 3Rs92uzQ | 承認されたユーザを定義します。 • セカンダリ バックアップ ルータで XML インターフェイスに対して以前に定義したものと同じユーザ名とパスワード。 |
| ステップ 5 | end 例： Router(config-telephony)# end Router(config-register-global)# end | 特権 EXEC モードに戻ります。 |

Extension Assigner を使用したオンサイトの内線番号の割り当て

次の作業は、お客様サイトでインストール技術者によって実行されます。

新規内線番号の割り当て

最初に、電話機をインストールすると、一時的にランダムな内線番号が割り当てられます。Extension Assigner にアクセスし、この電話機に適切な内線番号を割り当てるには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Extension Assigner を使用するために必要な情報をシステム管理者から入手します。この情報の一覧に関しては、[インストール技術者に対する必要情報の提供](#)を参照してください。
- ステップ 2 適切な内線番号をダイヤルして、Extension Assigner システムにアクセスします。
- ステップ 3 Extension Assigner のパスワードを入力し、# を押します。
- ステップ 4 この電話機の内線番号を表す ID 番号を入力し、# を押します。
- ステップ 5 その内線番号が別の電話機に割り当てられていない場合は、**1** を押し、電話機にその内線番号を割り当てることを確認し、電話を切ります。電話機のリセット後に、割り当てが完了します。
- ステップ 6 アイドル状態の別の電話機にその内線番号が割り当てられている場合は、次のようにします。
 - a) **2** を押して、他の電話機から内線番号の割り当てを解除することを確認します。
 - b) 切断します。
 - c) [ステップ 2 \(33 ページ\)](#) でこの手順を繰り返します。
- ステップ 7 使用されている別の電話機にその内線番号が割り当てられている場合は、次のいずれかを実行します。
 - [ステップ 5 \(33 ページ\)](#) に戻り、別の内線番号を入力します。
 - [内線番号の割り当て解除項](#)の手順を実行し、[ステップ 2 \(33 ページ\)](#) の最初でこの手順を繰り返します。

内線番号の割り当て解除

新しい内線番号を割り当てた後に、正しくない番号を割り当てたり、または当初のダイヤルプランが変更されたことに気付く場合があります。別の電話機で使用できるように間違った番号の割り当てを解除するには、次の手順を実行します。



(注) Extension Assigner へのダイヤルインに使用される電話機の内線番号、またはプロビジョニングタグが構成されている別の電話機の内線番号の割り当てを解除できます。

- ステップ 1 Extension Assigner を使用するために必要な情報をシステム管理者から入手します。この情報の一覧に関しては、[インストール技術者に対する必要情報の提供](#)を参照してください。
- ステップ 2 適切な内線番号をダイヤルして、Extension Assigner システムにアクセスします。
- ステップ 3 Extension Assigner のパスワードを入力し、# を押します。

- ステップ4 割り当てを解除する必要がある電話機のプロビジョニングタグを入力し、# を押します。
- ステップ5 割り当てを解除する必要がある電話機の内線番号のプロビジョニングタグを入力する際、2 を押してから # を押すと、電話機から内線番号の割り当てを解除することを確認するように求められます。
- ステップ6 切断します。

現在の内線番号の再割り当て

- 故障した電話機を交換するか、または内線番号を再割り当てする必要がある場合は、次の手順を実行します。



(注) 番号を電話機に再割り当てできるのは、その番号が次の場合のみです。

- 別の電話に割り当てられていない
- 別の電話に割り当てられており、その電話がアイドル状態
- 別の電話に割り当てられており、最初に内線番号の割り当てを解除した

- ステップ1 Extension Assigner を使用するために必要な情報をシステム管理者から入手します。この情報の一覧に関しては、[インストール技術者に対する必要情報の提供](#)を参照してください。
- ステップ2 適切な内線番号をダイヤルして、Extension Assigner システムにアクセスします。
- ステップ3 Extension Assigner のパスワードを入力し、# を押します。
- ステップ4 この電話機の内線番号を表す ID 番号を入力し、# を押します。
- ステップ5 その内線番号が別の電話機に割り当てられていない場合は、1 を押し、電話機にその内線番号を割り当てを確認し、電話を切ります。電話機をリセットすると、割り当てが完了します。
- ステップ6 アイドル状態の別の電話機にその内線番号が割り当てられている場合は、次のようにします。
- 2 を押して、他の電話機から内線番号の割り当てを解除することを確認します。
 - 切断します。
 - [新規内線番号の割り当て](#)セクションの手順を実行します。
- ステップ7 使用されている別の電話機にその内線番号が割り当てられている場合は、次のいずれかを実行します。
- [ステップ 5 \(34 ページ\)](#) に戻り、別の内線番号を入力します。
 - [内線番号の割り当て解除](#)セクションおよび[新規内線番号の割り当て](#)セクションの手順を実行します。

SCCP 電話機の Extension Assigner 構成の確認

-
- ステップ 1 **debug ephone extension-assigner** コマンドを使用して、Extension Assigner アプリケーションが生成したステータスメッセージを表示します。
- ステップ 2 **debug voip application script** コマンドを使用して、Extension Assigner アプリケーションの Tcl スクリプトを実行するときにサーバーで生成されるステータスメッセージを表示します。
- ステップ 3 「Cisco IOS デバッグコマンド参照資料」の説明に従って **debug ephone state** コマンドを使用します。
-

SIP 電話機の Extension Assigner 構成の確認

-
- ステップ 1 **debug voice register events** および **debug voice register error** コマンドを使用して、Extension Assigner アプリケーションが生成したステータスメッセージを表示します。
- ステップ 2 **debug voip application script** コマンドを使用して、Extension Assigner アプリケーションの Tcl スクリプトを実行するときにサーバーで生成されるステータスメッセージを表示します。
- ステップ 3 **debug ccsip messages** および **debug ccsip error** コマンドを使用して、電話機の登録解除のステータスメッセージを表示します。
-

Extension Assigner の構成例

SCCP 電話機の Extension Assigner の例

この例は、次の特性を持つルータ構成を示しています。

- インストール技術者が Extension Assigner アプリケーションにアクセスするためにダイヤルする内線番号は、0999 です。
- インストール技術者が Extension Assigner アプリケーションにアクセスするために入力するパスワードは 1234 です。
- 内線番号 0001 ~ 0005 を割り当てるために、**auto assign** コマンドが構成されている。
- インストール技術者は、Extension Assigner を使用して、内線番号 6001 ~ 6005 を割り当てることできる。
- Extension Assigner は、provision-tag を使用して、電話機に割り当てる ephone 構成と内線番号を識別する。
- **auto-reg-ephone** コマンドがデフォルトで有効化されているため、表示されるが必要である。

- ルータ構成を自動保存する **kron** コマンドを使用する。
- **max-ephone** 設定および **max-dn** 設定の 51 は十分に大きく、インストール技術者が 50 台の電話機に内線番号を割り当て、一度に接続できる。インストール技術者が 40 台の電話機に内線番号を割り当てる場合は、11 台は一度に接続できます。例外は、CiscoVG224AnalogVoiceGateways を使用する場合があります。Extension Assigner は、各ポートに 1 つ、各 CiscoVG224AnalogVoiceGateway に対して 24 の ephone を作成します。

```
Router# show running-config
version 12.4
no service password-encryption
!
hostname Test-Router
!
boot-start-marker
boot system flash:c2800nm-ipvoice-mz.2006-05-31.GOPED_DEV
boot-end-marker
!
enable password ww
!
no aaa new-model
!
resource policy
!
ip cef
no ip dhcp use vrf connected
!
ip dhcp pool pool21
network 172.21.0.0 255.255.0.0
default-router 172.21.200.200
option 150 ip 172.30.1.60
!
no ip domain lookup
!
application
service EA flash:ea/app-cme-ea-2.0.0.0.tcl
paramspace english index 0
paramspace english language en
param ea-password 1234
paramspace english location flash:ea/
paramspace english prefix en
!
```

```
interface GigabitEthernet0/0
no ip address
duplex auto
speed 100
no keepalive
!
interface GigabitEthernet0/0.21
encapsulation dot1Q 21
ip address 172.21.200.200 255.255.0.0
ip http server
!
control-plane
!
dial-peer voice 999 voip
service EA out-bound
destination-pattern 0999
session target ipv4:172.21.200.200
dtmf-relay h245-alphanumeric
codec g711ulaw
no vad
!
telephony-service
extension-assigner tag-type provision-tag
max-ephones 51
max-dn 51
ip source-address 172.21.200.200 port 2000
auto-reg-ephone
auto assign 101 to 105
system message Test-CME
create cnf-files version-stamp 7960 Jun 14 2006 05:37:34
!
ephone-dn 1 dual-line
number 6001
!
ephone-dn 2 dual-line
number 6002
!
ephone-dn 3 dual-line
number 6003
!
```

```
ephone-dn 4 dual-line
number 6004
!
ephone-dn 5 dual-line
number 6005
!
ephone-dn 101
number 0101
label Temp-Line-not assigned yet
!
ephone-dn 102
number 0102
label Temp-Line-not assigned yet
!
ephone-dn 103
number 0103
label Temp-Line-not assigned yet
!
ephone-dn 104
number 0104
label Temp-Line-not assigned yet
!
ephone-dn 105
number 0105
label Temp-Line-not assigned yet
!
ephone 1
provision-tag 101
mac-address 02EA.EAEA.0001
button 1:1
!
ephone 2
provision-tag 102
mac-address 02EA.EAEA.0002
button 1:2
!
ephone 3
provision-tag 103
mac-address 02EA.EAEA.0003
button 1:3
```

```
!  
ephone 4  
provision-tag 104  
mac-address 02EA.EAEA.0004  
button 1:4  
!  
ephone 5  
provision-tag 105  
mac-address 02EA.EAEA.0005  
button 1:5  
!  
kron occurrence backup in 30 recurring  
policy-list writeconfig  
!  
kron policy-list writeconfig  
cli write  
!  
line con 0  
line aux 0  
line vty 0 4  
logging synchronous  
!  
no scheduler max-task-time  
scheduler allocate 20000 1000  
!  
end
```

SIP 電話機の Extension Assigner の例

次の例では、音声登録プール1にプロビジョニングタグ1001が構成されており、音声登録プール2にプロビジョニングタグ1002が構成されています。

```
voice register global  
  auto-register  
  password cisco1234  
  auto assign 101-102  
  
voice register dn 1001  
  number 1001  
  
voice register dn 1002  
  number 1002  
  
voice register pool 1  
  provision-tag 1001
```

```

mac-address 02EA.EAEA.0001
number 1 dn 1001

voice register pool 2
provision-tag 1002
mac-address 02EA.EAEA.0002
number 2 dn 1002

```

Extension Assigner 同期例

プライマリ ルータ : 例

Extension Assigner は、プライマリルータからセカンダリバックアップルータに構成変更情報を送信することが許可されています。

```

telephony-service
standby username user555 password purplehat

```

セカンダリバックアップルータ : 例

システム コンポーネントは有効になり、XML インターフェイスは設定の変更情報を受信する準備が整っています。

```

ip http server
ixi transport http
no shutdown

ixi application cme
no shutdown

telephony-service
xml user user555 password purplehat 15

```

Extension Assigner の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリース だけを示しています。その機能は、特に断りが無い限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: Extension Assigner の機能情報

| 機能名 | Cisco Unified Cisco Mobility Express バージョン | 機能情報 |
|-----------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| SIP 電話機の Extension Assigner | 11.6 | インストール技術者が、Cisco Unified Cisco Mobility Express で構成された SIP 電話機に内線番号を割り当てられるようにします。 |

| 機能名 | Cisco Unified Cisco Mobility Express バージョン | 機能情報 |
|------------------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| Extension Assigner の同期 | 4.2(1) | セカンダリ バックアップ ルータが、プライマリ ルータの ephone MAC アドレスに行われた変更を自動受信できるようにします。 |
| Extension Assigner | 4.0(3) | インストール技術者がサーバーにアクセスせずに Cisco Unified Cisco Mobility Express SCCP 電話機に内線番号を割り当てられるようにします。 |

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。